

年 組 名前:

「旧鈴木邸」がオープン



意匠を凝らした建具が残るカフェスペース
＝甲府市丸の内2丁目

古民家で多世代交流

古民家をリノベーションした多世代交流施設「旧鈴木邸」(甲府市丸の内2丁目)が7日、オープンした。カフェや学生の活動拠点などがあり、地域住民が集える場として運営する。

古民家は1949年の建心に残った言葉を写真立てに飾って展示している。

猿田彦珈琲(東京都)創業メンバーの浅川元寿さん(37)が営む「愛妻家珈琲」のスペースは、舟底天井が見られ、落ち着いた空間でゆったりと過ごせる。「大学・多世代交流の部屋」は、山梨県立大の研究

者や学生が、地域住民と交流する活動などの拠点として活用。7日は高齢者健康増進サークルの学生が、来場者の血管年齢などを測定した。

飯田さんは「ここで暮らしていた母を知っている人も来てくれて、地域のつながりができる場になりそうだと感じた。皆さんに長く親しんでもらえるといい」と話した。

営業は午前10時～午後6時。日、月曜休み(県立大の部屋は不定期で開設)。

〈杉原みずき〉

(2024年12月13日付 山梨日日新聞17面)

問1 甲府市に古民家をリノベーションした施設がオープンしました。どのような場として運営しますか。

.....

問2 「感謝里 ちはるばあばの部屋」の特徴を教えてください。

.....

.....

問3 7日には、「大学・多世代交流の部屋」で、だれがなにを行いましたか。

・だれが:

・なにを: